

北極圏の正月

自分たちの繁栄よりも、北極圏の保全に努めなければならない

地球温暖化で、早めに雪や氷が融けるようになった



4月末から8月末までは、陽が沈まない白夜が続くが、雪や氷が解けた海岸には多量のゴミが顔を出す。

・北半球で出された**ゴミや、大気汚染物質**(ブラックカーボン、水銀、鉛、PCB、PFAS(人工的な有機フッ素化合物)、マイクロプラスチックなど)は、その全てが**北極圏へと流れていき**、北極圏の汚染を深刻化させている。

・永久凍土が溶け出すと、それに含有していた**有害物質も溶け出し**、北極圏の飲料水に移行する。

・また、永久凍土中の**有機物が**細菌によって分解されるときに多量の**温室効果ガス**を排出することになる。

・北極圏の**氷が減ると**、氷の融解によるエネルギー消費が減るため、**温暖化が加速**するようになる。

<作成:stnv基礎医学研究室>

世界最北端の町であるロングイェールビーン(スヴァールバル諸島;ノルウェー領)の1月は極夜の真っ只中である。



有害物質の全てが北極圏に集まっていき、そこで落下する

(原図の出典: 国立環境研究所)

極夜は10月末~2月中旬まで続き、その間は太陽を拝むことができないが、幻想的なオーロラを頻繁に見ることが出来る。

